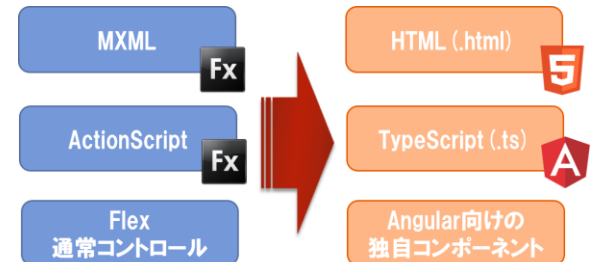


「2020 年の業務系システムにおける事業継続性の脅威」から企業を守る！

業界初！コンバート（変換）ツールを活用した

「Flex（フレックス）→ HTML5（エイチティーエムエル・ファイブ）自動変換サービス」、5 月 15 日提供開始

株式会社スタイルズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：梶原 稔尚 以下、スタイルズ）は、2020 年末にメーカーサポート終了が発表されている Flex（Adobe Flash Player で動作するシステムを開発するための開発基盤）を利用されている企業向け WEB 業務システムを、現在の WEB 業務システム標準である HTML5 へと最大 80%自動変換するコンバートツールの開発に成功しました。これを受けスタイルズでは、2018 年 5 月 15 日（火）に「Flex→HTML5 自動変換サービス」の提供を開始します。



これに伴い、これまで提供してきた「Flex で開発された業務システムを HTML5/Angular に移行」サービスの名称を変更し、スタイルズのコーポレートサイト内でサービスページをリニューアルして公開しました。

■「Flex→HTML5 自動変換サービス」ページ：<https://www.stylez.co.jp/html5gyoumu/>

スタイルズは「Flex→HTML5 自動変換サービス」をはじめとする「レガシーアプリケーション移行サービス※2 ページ目記載」の体制強化を行い、該当サービス群の合計売上高を 2020 年までに年間 5 億円とすることを計画しています。

◆開発の背景◆

Flex（Flash）のメーカーサポート終了発表を受け、主要なブラウザベンダーも 2020 年末以降は、最新ブラウザで Flash Player 機能を段階的に削除すると決定しています。これは、システムを改修しないとブラウザのバージョンアップができなくなるなどの問題が発生することを示唆しています。最新版のブラウザを利用していないとサイバー攻撃の対象となるなどセキュリティ上のリスクが高まることが懸念されます。企業は資金を投じてシステムを組み直すかシステムを移行するかの対策が必要です。

しかし、いままで開発してきた Flex 業務システムの資産をすべて再構築するには、投資してきた金額と同等の金額をかける必要があります。また、コンバートツールを活用せずに手動で Flex を HTML5 に変換する際も同程度の労力や費用がかかることが分かっています。そのため、大企業（資本金 3 億以上）の約 1000 社が抱える約 3500 の該当システム※1 は 2020 年に直面する脅威であるにもかかわらず、未着手のケースが多く、事業継続計画（BCP）への影響も考えられる状況となっております。

この状況を打破するためスタイルズでは、約 6 か月の開発期間をかけ、Flex→HTML5 コンバートツールを開発しました。また、業務システム全体の変換費用を、システムを手動で変換するのとは比べ、約三分の一のコストでシステムの移行を実現できるようになりました。

※1：スタイルズ調べ（2018 年 5 月）

◆「Flex→HTML5 自動変換サービス」の特徴◆

1. **自動化でコスト削減**：MXML・ActionScript・標準コンポーネントといった比較的共通性のある部分の以降はスタイルズ開発のコンバートツールにより自動変換します。これにより、開発工数を削減、納期・コストの縮小につなげます。
2. **設計書は不要**：古いシステムのため設計書も当時の担当者もいない。そのような場合でも、当サービスでシステム移行を行うことが可能です。ソースコードレベルで変換作業を実施するので設計書は不要です。
3. **実績あるノウハウを活用**：自動変換が不可能な部分も手動によるコード修正、書き直し、テストの実施を行います。実績のある HTML5/Angular コンポーネントを活用することで、迅速かつ変換後そのまま動く WEB システムに仕上げます。
4. **Flex 技術者のための HTML5/Angular 研修**：既存システムをメンテナンスしてきた Flex エンジニアが変換後システムのメンテナンスを継続して行うことができるよう、技術研修をパートナー企業と協力してご用意しています。

◆Flex→HTML5 コンバートツールで自動変換する内容とその効果◆

内容	概要	効果
MXML の変換	Flex 通常コントロール（mx）で実装された MXML ファイルを、Flex のコードフォーマットに合わせた独自コンポーネントを使用した HTML と TypeScript で生成	80%割合で移行可能、それによる作業コスト削減
ActionScript の変換	ActionScript のソースから、Angular のスケルトンを TypeScript で生成	スケルトンを実装する等の機械的な作業コストの削減
Flex 通常コントロールの変換	MXML の変換で参照される Angular 向けの独自コンポーネントを配置	当該コンポーネントを利用することで、Flex のコードフォーマットで HTML5 が動作するため、Flex 技術者のソース把握コストの削減

◆「Flex→HTML5 自動変換サービス」利用の流れ◆

1. お問い合わせ	Web フォーム、またはお電話（TEL:03-5244-4112）にて承ります。
2. ヒアリング	動作環境、規模等について所定のヒアリングシートにご回答頂きます。
3. NDA 締結・ソース提供	機密保持契約(NDA)締結後、プログラムソースコードを提供頂きます。
4. お見積り	ご依頼内容やコンバージョン率を基にお見積りをご提示いたします。
5. ご契約・案件開始	発注に際して必要な契約を行い、サービスの利用が開始されます。

◆レガシーアプリケーション移行サービスについて◆

サポート切れソフトウェアや費用対効果が悪くなった環境下にある Web システムを、最適な環境下や最新システムへ移植を行うスタイルズが提供するサービスです。セキュリティ事故が多発している Struts の移行サービスの他、2020 年にサポート終了の Adobe Flash/Flex を HTML5 へリニューアル、仮想環境下に構築されたアプリケーションをコンテナ化等のラインアップがあります。本サービスを御利用いただくことで、サポート切れによる脆弱性の脅威に対策するだけでなく、TCO（IT システムの導入、維持・管理などにかかる総費用）の削減に貢献します。

◆株式会社スタイルズについて◆

スタイルズは 2003 年の設立以来、企業が円滑な事業を行うのに必要な IT インフラの構築や、システム開発・保守、モバイルアプリやソフトウェアの開発などを手掛けているシステムインテグレーション会社です。AWS（Amazon Web Services）をはじめ各種クラウドやベンダーパートナーとして総合的な IT サービスを展開しています。近年、サポート切れソフトウェアや費用対効果が悪くなった環境下にある Web システムを、最適な環境下や最新システムへの移植を行う「レガシーアプリ移行サービス」に特に注力しています。サポート切れによる脆弱性の脅威に対応するだけでなく、TCO（IT システムの導入、維持・管理などにかかる総費用）の削減にも貢献することを目指しています。 【公式サイト】 <https://www.stylez.co.jp/> 【CloudShift 公式サイト】 : <https://cloudshift.stylez.co.jp/>

【会社概要】 株式会社スタイルズ 代表取締役社長 梶原稔尚 設立：2003 年 資本金：3,000 万円

本社：〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 1-2 風雲堂ビル 6 階 TEL：03-5244-4111

URL：<https://www.stylez.co.jp> 事業内容：情報システム開発・構築・運用保守・監視・人材サービス等

※本リリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。